

令和8年度 建設部 行政運営方針

<令和8年度 建設部の方針（使命、目標）>

激甚化傾向にある自然災害や都市施設の老朽化など、社会基盤の課題への対応が求められている中、計画的な都市基盤の整備や既存の施設の適正な維持管理など、地域活力を支える都市環境の維持・向上に取り組むとともに、除排雪や溢水対策など災害への備えを強化し、市民生活の快適性の向上や、安全・安心な暮らしを支えるまちづくりを進めていく。

① 政策分野24 公園・緑地

<重点方針> 公園施設長寿命化事業

公園施設の現状把握に努めながら、計画的に施設改修を行い、利用者の利便性の向上と安全・安心を確保していく。

<主要事業>

- ・公園施設長寿命化事業 8,780万円（令和7年2月補正額を含む）（まちづくり整備課）
5公園（中央公園、昭和公園、住吉児童公園、中央児童公園、名子屋町児童公園）の遊具更新等を行う。

② 政策分野27 治水

<重点方針> 総合治水計画の推進

総合治水計画に基づき、雨水幹線や水路の整備といった「流す」対策として、引き続き南四合雨水幹線の整備を重点的に進めていく。また、令和7年度より整備に着手した電動水門制御機器及びシステム改修を完了させ、降雨時に適切かつ迅速な水門操作を行うことで、市民の安全・安心な生活環境を維持する。

また、総合治水計画は策定からまもなく10年となるため、これまでの取り組み状況や社会情勢の変化、近年の降雨傾向や地域の課題などを踏まえて、次期計画の策定を進める。

<主要事業>

- ・雨水幹線整備事業 2億4,900万円（下水道施設課、都市計画課）
南四合雨水幹線を整備する。
- ・総合治水計画の改訂 1,132万円（下水道施設課、都市計画課）
現計画を総括し、近年の降雨状況の変化や法令の制定、地域調査および各関係機関からの聞き取り結果を反映し、策定中の「第8次総合計画」の個別計画として、次期計画の策定を進める。

③ 政策分野30 道路

<重点方針> 身近な道路環境の整備・保全

道路パトロールや定期的な点検により道路施設の状況を把握し、舗装路面や橋りょう等の経年劣化による破損等の予防的な補修を行うことで、施設の長寿命化を図り、良好な道路環境を保全していく。

<主要事業>

- ・市道舗装整備事業 6,290万円（道路課）

市民要望に対応するため、道路改良工事や舗装工事等を行う。

- ・道路維持修繕事業 2億5,268万円（道路課）

安全な道路を確保するため、パトロールを行うとともに、維持管理に必要な側溝や舗装等の修繕工事、除草等を行う。

- ・橋梁長寿命化修繕事業 5,100万円（道路課）

老朽化する道路橋等の増加に対応するため、長寿命化修繕計画に基づき、予防的な修繕や計画的な架替えを行い、維持管理コストの縮減と事業費の平準化を図る。

④ 政策分野33 住宅・住環境

<重点方針> 市住生活基本計画の策定

放置された空家等への対処や住環境の安全・安心に向けた取組が一層求められる中、住生活の分野において市が直面している問題点を整理した上で、市独自の住宅マスタープランを年度内を目途に策定し、これを共通の指針として庁内各課が連携して取り組んでいく。

<主要事業>

- ・会津若松市住生活基本計画（住宅マスタープラン）の策定 2,000万円（建築住宅課）

策定中の「第8次総合計画」における住宅分野の個別計画を総括する計画として位置づけ、国・県の住生活基本計画と整合連携した計画を策定する。

⑤ 政策分野39 まちの拠点

<重点方針> 会津若松駅前整備検討

基本計画に基づき、基本設計を行うとともに、都市計画や有効な財源確保に向けた必要な手続きについて、国や県等と具体的な協議を進める。

さらに、令和8年度のふくしまデスティネーションキャンペーンを通して、関係機関と連携した駅前公園でのイベント等の実証実験などにより、民間事業者による駅前周辺の活性化に向けた取組を後押しし、持続的な駅前空間の利活用や維持管理に向けた官民連携の体制づくりについて協議検討を進めていく。

<主要事業>

- ・会津若松駅前都市基盤整備事業 4,858万円（まちづくり整備課）

駅前広場や周辺道路等の基本設計を進めるとともに、駅前広場等の活用も見据え、関係機関と連携しながら実証や検討を重ね、事業着手に向けた取組を着実に進めていく。